

国会審議を封殺！ 共謀罪強行採決の暴挙に抗議!!

「1億総監視社会を作りかねない」「一般人も対象になるおそれがある」として、もっと十分な説明と慎重な審議を求める声が高まっていた共謀罪法案（組織的犯罪処罰法改正案）を、自民・公明・維新の3党は参議院の委員会質疑を打ち切り、委員会採決省略というきわめて乱暴な国会運営によって15日早朝、可決・成立させました。

安倍政権・与党の暴挙の背景には、加計学園疑惑で「総理のご意向」だとして政策をゆがめられたと文部科学省の前事務次官や現役職員から内部告発が相次ぎ、政権がいよいよ説明に窮し、国会を閉会して議論を封じる目論見が透けて見えます。

民主政治と自由・人権のために 強権政治に終止符を!!

国会審議を封殺し、国民から真実を覆い隠す安倍政権。民進党は、民主政治と国民の自由・人権を守るために、国民不在の強権政治に終止符を打つために、全力を挙げる決意です。国民の皆さまのご理解とご支援をお願いします。

民進党

15日早朝の参院本会議で
反対討論を行う蓮舫代表▶

